



# りとせ相模大野こども園

子育て支援広場 子育て情報 令和5年12月号

子ども達と一緒に楽しんでいた秋が終わり、あっという間に冬がやってきました。11月はお店屋さんごっこや遠足、消防署見学とたくさんの行事を楽しみました。

お店屋さんごっこでは、子どもたち自身が考えて商品を製作し、売り手と買い手を経験、また、りとせ銀行のATMで預金を引き出すことも・・・、そして、商品作りとお店屋さんで頑張った子ども達にお給料も支払われました。異年齢交流も含め、遊びを通して総合的に様々なことを経験し楽しむことができました。

りとせ相模大野こども園では、子育て支援や交流を行いながら、地域の子育て世代の親子と園児が楽しく過ごす機会を提供しています。毎週水曜日・木曜日は園庭開放日となっています。園児たちと一緒に遊んでみませんか。ご利用をお待ちしています。※園庭開放のご利用は園にお問い合わせください。



月	地域交流 (予定)
4月	絵本読み聞かせ
5月	シャボン玉で遊ぼう
6月	小麦粉ねん土であそぼう
7月	給食試食会
8月	夏祭り
9月	運動会
10月	ハロウィン
11月	保育ウィーク (お店屋さんごっこ)
12月	サンタをつくろう
1月	伝統あそびを楽しもう
2月	ひな祭り製作
3月	ひな祭り会

※内容と日程が決まりましたらその都度ご案内いたします。早めに予定を確認したい場合は、園にご連絡ください。

## 子どもにとって遊びは欠かせないもの！！

子ども達にとって、遊びは食事や睡眠と同様毎日欠かせないものです。子ども達は、今自分が伸びようとする力を感じ取り、それを遊びの中で何度も繰り返して着実に獲得していきます。つまり、子ども達は自ら育ちの種を持っていて、それを遊びによって芽吹かせて様々な力を身に付けていくのです。

6か月未満位までの人たちは、仰向けに寝ている時に人や玩具との関わりが生まれやすくなります。自由に手足を動かしてバタバタさせることで腰がしっかり座るようになると言われていいます。1歳位になると、歩くことや体を動かすこと自体を遊びとして楽しむことができます。全身を動かして五感を十分に使って遊ぶことで身体感覚と自己認識を確認することができます。子どもたちの行動には無駄なことはありませんね。

子ども達は、体を動かすこと、遊ぶことで運動能力だけではなく、生活能力や器用さなど様々な力を獲得していきます。

環境を探索し挑戦することで意欲や自発性を、お友達とのごっこ遊びの中では大人のまねっこをしながら社会性や人間関係を、「できた！」という経験からは自己有能感や達成感を、色々なものに触れること、積み上げること・・・様々な遊びの中で思考力や認識力、感情の安定も獲得していきます。

遊びには正解は無いと思います。ルールは状況に合わせて柔軟に考えましょう。遊びの中で失敗を経験し幼児期に柔軟でたくましい心を身に付けることで苦勞や挫折を乗り越える力の基になるものを獲得することもできるのだと思います。



## 育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか？りとせ相模大野こども園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。お待ちしております。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-16-18 TEL 042-705-4500